

ネットワークシステムの安定稼働

セブン銀行は、ATMとネットワークシステムを安心して安全に使い続けていただくことをお客さまに果たすべき最も重要な責任と認識し、災害や不正アクセスに備えた対策を講じています。

3つの視点から安定稼働を追求

1 システムダウンの防止

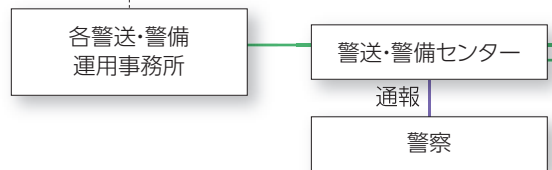
- a** 災害等に備え東西2カ所にシステムセンターなどを設置
拠点の二重化: 中継システムやATMコールセンター、テレホンセンター等を東京・神奈川と大阪の東西2つのエリアに設置。それぞれ常時稼働し、万一の災害の際には、自動的に相互にバックアップできるシステムを構築しています。
- b** 各センターの設備も二重化し、緊急時に対応
設備の二重化: 東西2カ所のシステムセンターの中に設置された中継システムも二重化することで、緊急時の対応も万全です。

2 万全のセキュリティ対策

- c** 独自のネットワークで専用回線を使用
提携金融機関とはセブン銀行独自のネットワークで直接つながっています。独自のネットワークは専用回線を使用し、セキュリティも万全です。
- d** 暗号化処理や不正アクセスの検知機能を導入
提携金融機関との取引形態に応じた暗号化処理を実施するとともに、ネットワークへの不正アクセス、不正侵入等を自動検知する機能を備えています。また、海外発行カードの取引は、国際標準のセキュリティ(3DES)で暗号化されています。

3 故障・トラブル時の迅速対応

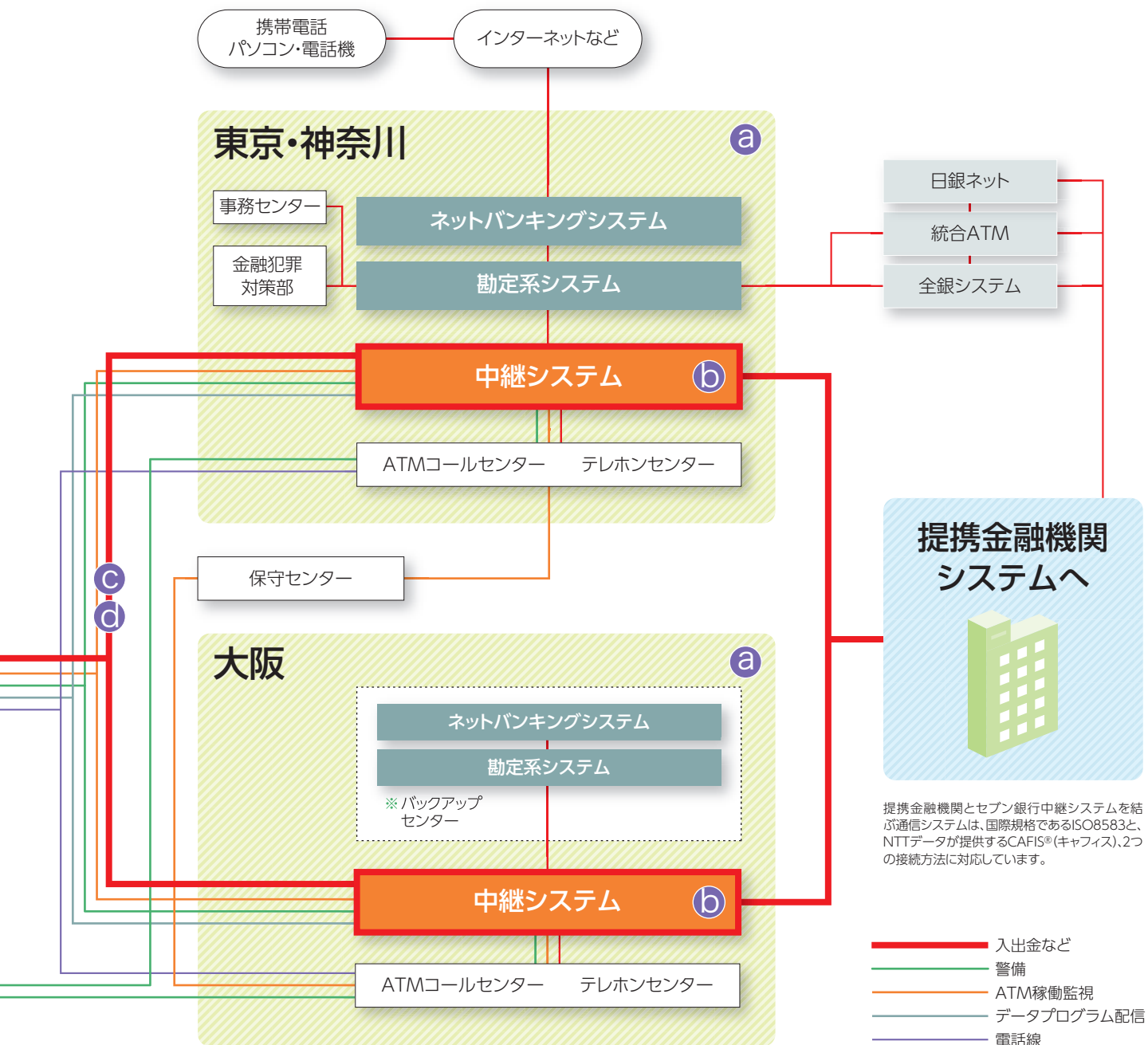
- e** すべてのATMを一括制御し、リアルタイム管理
全国すべてのATMをシステムによってリアルタイム管理しています。ATMに故障や不具合が発生すると、自動的にシグナルが送られ、スピーディかつ的確に対応することができます。



- f** 特定ATMの画面表示の個別制御を実現
地域や設置場所ごとにATMの画面を制御しています。また、トラブル発生時には、警備員の到着予定時刻を表示するなど、緊急時にも速やかに対応しています。



到着予定時刻表示画面



ATM: 現金自動預払機

※ **ATM:** Automatic Teller Machine⇔CD(Cash Dispenser) 現金自動支払機。

統合ATM: 都市銀行や地方銀行など、業態の異なる金融機関のATMを相互接続するためのシステムネットワークの名称。

MICS(全国キャッシュサービス):(=Multi Integrated Cash Service) 民間金融機関の各業態別オンライン提携ネットワークを、中継センターを介して接続するCD/ATMネットワークの名称。1990年2月にBANCSである都市銀行13行(当時)と、ACSである地方銀行63行が提携し、以後業態別に提携を拡大しました。なお、2004年1月4日から、MICSはNTTデータの提供する「統合ATMスイッチングサービス」を利用しています。

全銀システム: 国内にある銀行間の振込などの取引に関するデータの交換、及び資金決済を行うシステム「全国銀行データ通信システム」の略称。銀行や信用金庫など、日本のほぼすべての民間金融機関が参加しています。

3DES(トリプルDES):(=Triple Data Encryption Standard) 世界の主要な金融機関が採用している厳しいデータセキュリティ基準で、お客さまの暗証番号を国際標準に従った高いレベルのセキュリティで暗号化すること。当社ではATM及び内部ネットワークに対応機器を導入しその基準に適合させています。

ISO8583: 金融端末(中継システム含む)と金融機関の勘定系(入出金)システムとの間で、カード取引情報をやりとりするための通信手段を規定した「国際規格」の名称。当社の「ATM」と「中継システム」「勘定系システム」並びに提携金融機関のシステムは、この「ISO8583」に準拠した手順などを採用し、ネットワーク化されています。

CAFIS®(キャフィス): NTTデータが提供するオンラインクレジット情報サービスの名称。クレジットカード会社や金融機関などを通信回線で結び、入出金情報をオンラインで中継するサービス。

※ **CAFIS:** Credit And Finance Information System
「CAFIS」は株式会社NTTデータの登録商標です。